

「21世紀における『孟子』像の新展開」

日時：第1日 2019年6月22日(土) 13:00～17:00

第2日 2019年6月23日(日) 10:00～15:00

会場：二松学舎大学九段キャンパス4号館6階4061教室

戦国時代中期の思想家・孟子の思想を窺い得るテキスト『孟子』は、特に南宋の朱熹が重視して以降、人間の先天的な能力を積極的に評価したものとして思想史上一つの中心的な役割を果たしてきた。

しかし、歴史的に見ると『孟子』の評価は必ずしも一様であったわけではなく、時代や地域によって多様な捉え方をされてきたともいえる。

第1日「中国古典学と孟子」

東アジア学術総合研究所共同研究プロジェクト「中国古典学の再構築」では、最終年の今年、時間軸—古代から近世まで—と空間軸—東アジアから西欧まで—の二つの方向から、最新の研究に基づき『孟子』像の諸相を多角的に考察する。

報告者(敬称略):井川義次(筑波大)、末永高康(広島大)、田尻祐一郎(東海大)、南部英彦(山口大)、市來津由彦(二松学舎大)

第2日「近代漢学と孟子」

SRF 事業では、東アジア諸地域の近代化過程における「漢学」が果たした役割についてさまざまな取り組みを行ってきた。人性と革命を問題にした孟子の思想に着眼することによって、「漢学」の近代の変容の諸相を考える。

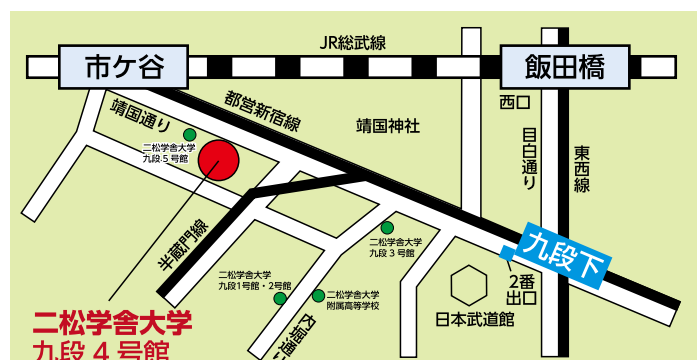
報告者(敬称略):木村淳(大妻女子大)、桐原健真(金城学院大)、中島隆博(東京大)、エディ・デュフルモン(ポルドー・モンテーニュ大)、田中正樹(二松学舎大)

〈お問い合わせ〉

二松学舎大学
東アジア学術総合研究所

TEL 03-3261-3535

入場無料
事前申込不要



○東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分
※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

【プログラム】

◀ 第1日 6月22日 (土) ▶

13:00	開会の挨拶	田中 正樹 (共同研究プロジェクト研究代表者・二松学舎大学教授)
13:05	趣旨説明	田中 正樹 (共同研究プロジェクト研究代表者・二松学舎大学教授)
13:10～13:40		末永 高康 (広島大学教授) 「五行から四端へ ―孟子による子思思想の受容と改変―」
13:45～14:15		南部 英彦 (山口大学准教授) 「太初改暦における黄老と儒学の統一 ―孟子の「五百年周期説」の漢代的展開―」
14:20～14:50		市来 津由彦 (共同研究プロジェクト研究分担者・二松学舎大学特別招聘教授) 「『孟子』の北宋を読み解く」
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:30		井川 義次 (筑波大学教授) 「イエズス会士によるヨーロッパへの初期『孟子』紹介と翻訳の実情」
15:35～16:05		田尻 祐一郎 (東海大学教授) 「伊藤仁斎と『孟子』」
16:05～16:10	休憩	
16:10～16:50	総合討論	コメンテーター：野間 文史 (広島大学名誉教授)

◀ 第2日 6月23日 (日) ▶

10:00	開会挨拶	牧角 悦子 (二松学舎大学文学部長・教授)
10:05	趣旨説明	町 泉寿郎 (二松学舎大学 SRF 研究代表者・教授)
10:10～10:40		桐原 健真 (金城学院大学教授) 「孟子の幕末」
10:45～11:15		田中 正樹 (二松学舎大学 SRF 事業推進担当者・教授) 「山田方谷・三島中洲にみる近代の陽明学と孟子」
11:20～11:50		エディ・デュフルモン (ボルドー・モンテーニュ大学准教授) 「中江兆民における孟子とフランス共和主義の哲学」
11:50～13:00	休憩	
13:00～13:30		中島 隆博 (東京大学教授) 「フランスシノロジーが読む孟子」
13:35～14:05		木村 淳 (大妻女子大学非常勤講師) 「明治大正期の『孟子』教材」
14:10～14:50	総合討論	コメンテーター：ジェレミー・ウッド (SRF研究員)